

平成30年6月29日

理事長 殿
病院長 殿

公益社団法人 全日本病院協会
会長 猪口 雄二
医療機関トップマネジメント研修事業
担当理事 徳田 禎久

「第13回 医療機関トップマネジメント研修コース」参加のご案内

日頃より、全日本病院協会の活動にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。
さて、当協会では、平成18年度より、会員病院の理事長・院長の方、あるいは将来の理事長・院長候補の方を対象にした「医療機関トップマネジメント研修コース」を開講いたしております。

本研修コースは、当協会が経済産業省の委託事業において開発したトップマネジャー向けの研修用教材とテーマに沿う会員病院での取り組みから作成されたケースを使用し、戦略的・効率的な医療経営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指すものです。

本研修の大きな特徴は、テーマに関して全般的な講義を受けた後、参加者がグループワークで解決方法を考えるケーススタディ形式を行っていることにあります。

講師陣には、ケース作成にかかわり当協会の各委員会でも活動され、医療現場の実情を熟知されている方、経営についての専門家をお迎えいたしております。

第1回から第12回までに、全国各地から計417名のご参加をいただきましたが、医療界では数少ないグループワークによるケーススタディ形式の研修が大変好評でありました。また、各自が自分の考えをまとめる方法を学ぶと共に、他の参加者の考え方や経験を知ることも可能となり、管理者としての経験の浅い方にも有意義な研修であったとのご感想をいただいております。

また、ケースの更新や新しいケースを追加しつつ、参加者の研修の評価も検討しながら、より効果的な質の高い研修会へと進化させております。

つきましては、第13回研修コースについて、別添パンフレットのとおりに企画いたしましたのでご案内申し上げます。是非ともパンフレットをご高覧いただき、ご参加を検討いただきたくお願い申し上げます。

なお、参加申込は平成30年9月7日（金）までとなっております。

本コース開始日（第1単位）は平成30年9月22日（土）・23日（日）です。

※受講料金は（公社）全日本病院協会の会員・非会員とも同一です。

【問合せ先・申込先】

公益社団法人 全日本病院協会 事務局

〒101-8378 東京都千代田区猿樂町 2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7F

TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444

ホームページ <http://www.ajha.or.jp/>



受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

第13回 (平成30年度)

医療機関 トップマネジメント 研修コース

受講対象 理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方

開講期間 平成30年9月～平成31年1月
全4単位、各単位2日間 土曜13:00～21:00 日曜9:00～15:00

受講料金 全4単位 本体価格300,000円 (税込 324,000円) ※食事代・懇親会費含む

受講定員 30名

会場 公益社団法人 全日本病院協会
〒101-8378 東京都千代田区神田猿楽町2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7F
TEL.03-5283-7441

申込締切 平成30年9月7日 (金)

第13回

医療機関トップマネジメント研修コース参加のお勧め

公益社団法人 全日本病院協会

会長 猪口雄二

日頃より当協会の活動にご協力ご支援をいただき、誠に有難うございます。

さて、平成30年度は、地域医療構想を含む第7次医療計画が開始することに加え、診療報酬・介護報酬のダブル改定、介護療養病床の受け皿となる介護医療院の創設等、病院経営に直面する諸問題に加え、医師をはじめとした医療従事者の需給に関する検討、医師の働き方改革、専門医制度等の社会の変容に応じた新たな動きもあり、病院にとって存続に係る大きなテーマが目白押しです。また、全国各地で今まさに推進されている地域包括ケアシステムの構築は、地域に密着した中小病院にとっては、極めて重要な問題であり、多くの会員病院が主体的に関わっていく必要があると考えています。

これらの状況を鑑みますと、各医療機関が今後も存続していくためにどのようにしたらよいか、複数の選択肢の中から自院の方向性を選んでいく、まさに岐路に立っているのではないかと思います。

その一方で、病院の経営環境如何にかかわらず、国民からは、常に安全で質の高い、安心できる医療の提供を求められております。さらに、社会の医療提供に対する要求は高度化・多様化しており、我々は環境変化の有無に関わらず、これまで以上に質向上、効率化を図り公共性の高いサービス業として事業を継続していく必要があります。

これらの諸問題に対処するために、トップマネジャーは施設運営に際し、医療実務(専門技術)と経営実務(管理技術)双方を兼ね備えねばなりません。しかし、医学教育・卒後研修の中に経営学並びにその実務習得は含まれておりません。

全日本病院協会では、平成17年度から経済産業省の「医療経営人材育成事業」に参画し、平成18年度より、同事業を通じて作成した研修用教材を使用した研修会を開催致しております。医療界では数少ないケーススタディによる研修会であり、ご参加いただきました皆様よりご好評をいただいております。

本研修では、グループワークを中心に行っております。施設運営の際のモデルとなる民間病院の実例を中心に、効率的、戦略的な医業運営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指します。また、現在のトップマネジャーや次世代を担う理事長・院長候補の方々が全国からご参加され、普段では聞くことのできない各施設の実態に関する意見交換の場ともなり、受講者間の有意義な交流も行われております。

系統的な教育と実践に基づく知識・見識に富む行動力のある経営者の育成を目指し、今年度も引き続き「医療機関トップマネジメント研修コース」を開催致します。

各医療機関からの積極的なご参加をお願い申し上げます。

 公益社団法人 全日本病院協会

 公益社団法人 全日本病院協会

Program

●講師・講義内容は変更になる場合があります。



第1単位 9月22日(土)13:00~21:00 23日(日)9:00~15:00

(第1日目) 医療概論、オリエンテーション、経営学概論

●講師
飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長
伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
李 濟民 小樽商科大学大学院商学研究科 教授

■概要
＜医療概論＞
医療経営をするために必要な基本的考え方と知識を提示する。医療とは何か、医療の特性、医療制度（医療提供体制と医療保険制度）、医療機関の特徴、組織とは何か、とくに病院とは何か、病院の組織図、病院の業務、医療の標準化、情報化。
＜オリエンテーション＞
ケーススタディー方法論とケース研修の目的を説明する。
＜経営学概論＞
医療事業において必要とされる経営学の基礎的用語・概念を中心に解説する。SWOT分析による外部環境及び内部資源分析を初め、経営戦略の代表的なツールを理解することで、医療機関が持続的に成長し続けるための知見を習得する。

第1単位 1日目	13:00~15:00	医療概論	講義
	15:10~16:10	ケーススタディーの説明	説明
	16:10~19:00	経営学概論	講義
	19:10~	懇親会	

(第2日目) 広報・ブランド管理、BSC

●講師
伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
佐藤 剛 グロービス経営大学院 教授

■概要
＜医療機関のブランド育成と広報＞
医療機関のブランド構築の基礎を事例を交えて説明する。広報に関しては医療広報戦略とともにクライシスコミュニケーションについても解説する。
＜BSCの解説＞
BSCの概要を説明し、中規模病院でのBSCを用いた院内モチベーションのアップの事例について解説する。ここまで講義して来た経営戦略、ブランド戦略、広報戦略やBSCなどのビジネス手法を如何に活用するかの基本的視点の講演を行う。
■演習
＜ブランド戦略＞
・ブランド構築の方策。
＜広報戦略＞
・危機管理対策のポイント。
＜BSC＞
BSCの実施方法の習得
・BSCの設計
・運用と進捗状況の把握

第1単位 2日目	9:00~11:35	広報・ブランド管理	講義 グループワーク 発表討議
	12:15~15:00	BSC	講義
			グループワーク
			発表討議

第2単位 10月13日(土)13:00~21:00 14日(日)9:00~15:00

(第1日目) 医療の質評価、DPCの活用、在宅医療

●講師
長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要
＜医療の質評価、DPCの活用＞
急性期病院の包括評価であるDPCでは、標準コードを使用し、電子的に、医療内容を含む情報が利用可能となる。これを用いた医療の質評価の方法について学ぶ。また、DPCの導入により、医療機関の機能分化、外来を含むバスの改訂、検査の絞込み、ジェネリック薬の導入など医療マネジメント方法は大きく変わった。これについて概観し、課題を明らかにする。
＜在宅医療＞
高齢化社会において、持続可能な医療提供体制を考えると、医療政策上、在宅医療は有力な選択肢となる。また、在宅医療の提供、あるいは、その支援は地域一般病院を目指す際の検討課題となる。病院経営における在宅医療の可能性、位置づけを検討し、課題を明らかにする。

第2単位 1日目	13:00~16:10	医療の質評価・DPCの活用	講義 演習 質疑応答
	16:20~21:00	在宅医療	講義
			グループワーク
			発表討議

(第2日目) 安全管理、リスク管理

●講師
長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要
＜安全管理、リスク管理＞
医療安全は医療の質の最重要の構成要素である。医療安全の考え方を明らかにし、具体的な事例を基にした対応策の検討、院内での体制づくりの方法について検討する。

第2単位 2日目	9:00~11:35	安全管理	講義 グループワーク 発表討議
	12:15~15:00	リスク管理	講義
			グループワーク
			発表討議

第3単位 11月10日(土)13:00~21:00 11日(日)9:00~15:00

(第1日目) 財務管理 管理会計、医療における総合的質経営(TQM)基礎

●講師
石井 孝宜 公認会計士
飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長

■概要
＜財務管理、管理会計＞
財務管理に関する基本的な考え方を解説した後、病院における管理会計の基本となる病院会計準則について説明するとともに基本的な病院経営指標の具体的な算式や理解の仕方を明確にする。また、開示されている様々な病院開設主体及び病院の財務情報を確認することによりトップマネジメントとして認識すべき財務の視点を習得する。
＜医療における総合的質経営(基礎)＞
医療への総合的質経営(TQM)の導入を検討するための、基本的考え方と知識を提示する。
理念・方針、質管理原論・質管理手法、なぜ質向上か、量から質へ、医療の質向上、質向上活動、質管理(Quality Management)の基本的考え方、情報共有と標準化、継続的改善、PDCAサイクル、方針展開等

■演習
＜経営指標事例の分析・評価＞
病院及びその開設主体において必要とされる経営指標の内、機能性、収益性、生産性、財政状態について理解を深めるため実在する具体例や厚労省の病院経営指標を使用し、実務的な活用を可能にするとともに現時点の病院経営評価に役立てられるように解説する。
＜医療における総合的質経営(基礎)＞
・理念・方針の徹底
・なぜ質か
・改善の必要性
・トップの役割
・改善活動の組織化
・推進方法検討
・組織の活性化
・(品)質管理
・総合的質経営

第3単位 1日目	13:00~16:30	財務管理・管理会計	講義 グループワーク 発表討議
	16:40~21:00	TQM基礎	講義
			グループワーク
			発表討議

(第2日目) 医療における総合的質経営(TQM)応用

●講師
飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長
柳川 達生 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 副院長

■概要
＜医療における総合的質経営(応用)＞
医療への総合的質経営(TQM)の導入事例(ケース・スタディ)GWと発表/質疑

第3単位 2日目	9:00~15:00	TQM応用	講義
			グループワーク
			発表討議

第4単位 1月12日(土)13:00~21:00 13日(日)9:00~15:00

(第1日目) 終末期医療、人事管理

●講師
池上 直己 聖路加国際大学公衆衛生院 特任教授

■概要
＜終末期医療＞
ガイドライン等の終末期医療を巡る政策動向を解説し、今後増える死亡退院に備えて、終末期医療の3つの類型に沿って、病院がどのように対応するかを解説する。
＜人事管理＞
人事管理の普遍的課題について解説した後、職員のほとんどが有資格者である病院の特殊性を説明する。

■演習
＜終末期医療＞
・ケースにおける終末期医療の対応をもとに、自院における患者・家族への情報提供や判断に参画する方法を検討する。
＜人事管理＞
・自院における人事管理を踏まえて、ケースにおける人事管理を検討する。

第4単位 1日目	13:00~16:45	終末期医療	講義 グループワーク 発表討議
	16:50~21:00	人事管理	講義
			グループワーク
			発表討議

(第2日目) 病床再編、医療連携

●講師
池上 直己 聖路加国際大学公衆衛生院 特任教授

■概要
＜病床再編＞
医療計画の歴史的背景から、地域医療構想による病床再編の可能性を解説し、現場・病院としての対応を提示する。
＜医療連携＞
連携は自院・自法人として提供しないと決めた分野について行うので、その対象は自院・自法人における病床・機能再編と表裏一体の関係にある。このような戦略的対応の阻害要因を解説し、対応を解説する。

■演習
＜病床再編と医療連携を一体的に検討＞
・既存病床の転換や連携の新しいあり方について、自院・自法人における経験を踏まえて、ケースにおける対応を検討する。
・診療報酬の改定の動向を踏まえて検討する。
・終末期医療に対する対応も踏まえて検討する。

第4単位 2日目	9:00~15:00	病床再編・医療連携	講義
			グループワーク
			発表討議

第13回(平成30年度)

医療機関トップマネジメント研修コース

受講者の声



医療法人社団源守会
会田記念リハビリテーション病院
病院長
篠田 雄一

今回の受講の一番の感想は、「皆、真剣に日本の医療を考えている。」という事でした。医療は取り巻く環境において価値観が変遷して行きます。特に経済と政治に影響を強く受け、使命感が見失われてしまう事が度々です。グループワークなどを通じ、価値観を共有できる仲間を見つけられる事は大変有意義でした。そして、このようなセミナーを院内で開催できればと思いました。格差社会だけではなく、渦巻く価値観の多様性の様々な問題に対し我々は医療をキーワードに解決できればという思いを、今回のセミナーで再認識でき、非常に有効な時間と感じました。できれば、事務職との混合ワークショップが今後、開催されればと思いました。



医療法人敬愛会
リハビリテーション天草病院
病院長
天草 弥生

「トップマネジメント研修」というネーミングを聞き、経営は事実上未経験の私が受講して大丈夫だろうか、という不安からの参加となりました。しかし、実際受講してみると、他の参加者も気さくな先生ばかりで、分からないことは「分からない」と正直に言える環境に安心しました。特にグループワークは、他の先生方の考えや経験上の生の言葉を聞くことができ、大変有益でした。また、活発なディスカッションの中で、改めて自院の特徴や問題点を客観的に認識することが出来、これから自院がどうあるべきか、何をやるべきかを真剣に考えなければいけない、と痛感しました。そして、この研修を通じ、トップには強い意思が必要ということを学びました。多くの先生方と交流でき、学べたことは大変貴重な経験となりました。



医療法人清和会
水前寺とうや病院
リハビリテーション科 科医長
東野 孝治

これまでの大学病院での医師としての働きとは大きく異なる病院経営という分野。大学を離れ3年が経つ業務の中で、今後必要となることを実感したため、少し早いとは感じましたが何か得ようとこの研修に参加させて頂きました。理事長や院長を始め様々な役職の方々が、トップとしてのマネジメントの在り方や、各々の立場での問題への解決策を学ぼうと参加されておられました。

私は一医長としての参加ではありましたが、グループワークを通し、経営者として組織理念がどれ程重要で、その理念の浸透には何が必要か、その実現の為にどの様な事に悩まれているのかを目の当たりにする事が出来ました。

各部署での問題解決や部署間連携を円滑に行うためのツール、そして理念の浸透した組織風土を作り、地域に必要とされる病院であり続けるための多くの手掛かりを与えて頂いたと実感しております。



社会医療法人北斗会
さわ病院
副院長
澤 滋

以前は勤務医の立場で中間管理職として勤務しておりましたが、病院管理者になってからは、より大きな視点で判断・行動しなければならないことが多く日々模索する毎日でした。参加者の皆さんは世代や背景も様々でしたが、グループワークなどを通し新たな視点を提示いただくことも多く、自分の考えを整理するために大変役に立ちました。講義も多岐にわたり、これだけ多くの内容を短期間で学ぶ機会を提供いただけたことに感謝しております。研修後テキストを繰り返し読み返すことも多く、実践できるところから手を付けていこうと考えております。病院管理の関する教育は、臨床教育とは別にしっかり学ぶ必要があると思います。本研修で活発な議論をさせて頂きました参加者の先生方にも再会できることを楽しみにしております。

第13回 医療機関トップマネジメント研修コース

[受講申込書]

受講者氏名	ふりがな	年齢	印
	個人のE-mail		
役職名	左記役職の職歴年数		
病院名			
病院所在地	〒		
	都道府県		
経営主体 (法人名)	TEL ()	-	FAX () -
種別	一般 () 床	医療療養 () 床	介護療養 () 床
	精神 () 床	感染 () 床	結核 () 床

※上記該当欄にご記入の上、下記受講申込先まで郵送またはFAXでお申込みください。
 ※上記の個人情報については、適切に処理し、本研修の目的以外には使用いたしません。

応募要項

- 受講対象
現在、理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方
- 受講定員 30名
- 受講料金 全4単位 本体価格300,000円(税込324,000円)
※食事代・懇親会費含む
- 申込締切 平成30年9月7日(金)
- 受講申込・研修会場・お問合せ先
公益社団法人 全日本病院協会
〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7F
TEL. 03-5283-7441 FAX. 03-5283-7444



- 最寄駅
JR中央・総武線「水道橋」駅東口下車・徒歩4分
都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車・徒歩4分